

『ビジネス』を護るサイバーセキュリティデイズ2025

企業活動においてデジタル化が加速し、サイバー攻撃の脅威はあらゆる分野の企業・組織にとって無縁とはいえ、サイバーセキュリティへの取り組みは、IT/セキュリティ担当者だけの課題ではなく、事業の継続性を担保するため組織全体で取り組むべき最重要の課題となっています。こういった課題を打破するため、企業・組織の経営層やセキュリティ担当者だけでなく組織に所属する全ての方々を対象に実践的演習とセミナーを開催します。

Practice Day (Micro Hardening) ※プログラム詳細は裏面参照

定員32名 参加費無料

2025年2月27日(木) 13:00~18:00 石川県文教会館 401・402号室 (石川県金沢市尾山町10-5)

サイバーセキュリティに関心を持つ学生、企業のセキュリティ担当者などを対象にゲーム感覚でサイバー攻撃に対処する能力の向上を図る実践的演習 (Micro Hardening) を実施します。個人・チームでの参加申し込みを受け付けます。(詳しくは裏面の「お申し込み方法」をご覧ください)あわせて「SecHack365」における、若手サイバーセキュリティ人材の取り組み紹介します。

Seminar Day (サイバーセキュリティセミナー)

定員80名 参加費無料

2025年2月28日(金) 13:30~16:30 金沢東急ホテル ボールルームB (石川県金沢市香林坊2-1-1)

- 13:30~13:40 開会挨拶 総務省北陸総合通信局長 菱田 光洋
- 13:40~15:00 パネルディスカッション (第一部)
▶ テーマ: 中小企業のサイバーセキュリティ対策の現状
- 15:10~16:20 パネルディスカッション (第二部)
▶ テーマ: 参加者全員で考えよう、北陸地域におけるサイバーセキュリティ意識の向上
- 16:20~16:30 閉会挨拶 国立研究開発法人情報通信研究機構 (NICT)
ソーシャルイノベーションユニット長 西永 望

【パネルディスカッション登壇者】



ファシリテーター

篠田 陽一 氏

北陸先端科学技術大学院大学教授
内閣サイバーセキュリティセンター参与
国立研究開発法人情報通信研究機構
R&Dアドバイザー
CYDER実行委員会実行委員

情報環境、ネットワーク分散システム、ソフトウェア開発環境の研究に従事。サイバーセキュリティデイズには2018年に開催された第1回からファシリテーターとして参画



パネリスト

中西 克彦 氏

株式会社F P R Iセキュリティ
yara事業本部セキュリティサービス担当副本部長
国立研究開発法人情報通信研究機構
CYDER実行委員会推進委員

2015年から東京2020組織委員会に出向し、CSIRT、脅威情報分析、政府等関連組織との連携などを担当。内閣府情報化参与、CISSP



パネリスト

森島 直人 氏

EYストラテジー・アンド・コンサルティング株式会社
サイバーセキュリティパートナー

監査法人にて情報セキュリティマネジメントシステムやCSIRT、脆弱性管理態勢等の構築、情報セキュリティ対策に係る整備及び運用の外部評価等に従事。博士(工学)、公認会計士



パネリスト

川口 洋 氏

株式会社川口設計 代表取締役
国立研究開発法人情報通信研究機構
CYDER実行委員会推進委員

大手セキュリティ会社にてセキュリティ監視業務等を歴任。後に内閣サイバーセキュリティセンターに出向し、行政機関のセキュリティインシデントの対応等に従事。CISSP、CEH



パネリスト

高江 茂 氏

NECソリューションイノベータ株式会社
セキュリティ事業部・第一グループ・
サイバーセキュリティグループ
シニアマネージャー

2002年度よりセキュリティ事業に従事。セキュリティ診断、ICカードシステム開発、コンサル、サイバー演習、インシデント対応等の事業を推進。石川県警察サイバー犯罪対策テクニカルアドバイザー



パネリスト

高 穂 葉 氏

ウィルフラップ株式会社 代表取締役
エキスパート・フラップ株式会社 代表取締役

石川県内で人財総合サービス事業を展開。主に労働者派遣および有料職業紹介、企業研修、学生就職支援に従事

主催 総務省北陸総合通信局、経済産業省中部経済産業局、国立研究開発法人情報通信研究機構、北陸経済連合会
北陸情報通信協議会、北陸サイバーセキュリティ連絡会
協力 富山県警察本部、石川県警察本部、福井県警察本部、富山県商工会議所連合会、石川県商工会議所連合会
一般社団法人福井県商工会議所連合会、一般社団法人富山県情報産業協会
一般社団法人石川県情報システム工業会、一般社団法人福井県情報システム工業会

サイバー攻撃に対処する能力の向上を図る実践的演習 Micro Hardening とは

Micro Hardening は「衛る技術の価値を最大化することを目指す」プロジェクトである Hardening Project から生まれたサブプロジェクトであり、「ゲーム感覚で」サイバー攻撃に対処する能力を磨くことを目指した実践的演習です。参加者は4人で1チームとなり、45分という限られた時間のなかで、提供されたEC(electronic commerce：電子商取引)サイトに対する様々なサイバー攻撃に対処することが求められます。ECサイトで買い物を行うクローラ（買い物ロボット）が購入した金額が得点となり、さらに防いだ攻撃に応じたボーナス得点が得られ、ECサイトを安定稼働させることが高得点につながります。45分を1セットとし、3セット繰り返すことで、毎回少しずつ攻撃の状況を観測し、対処方法を試すことで、エンジニアとしての能力向上を図ります。

【ファシリテーター】川口 洋氏（株式会社川口設計代表取締役）

【タイムテーブル】 13:00 開始/説明
13:30 演習（45分）、振り返り（30分）※3セット 繰り返し
17:30 終了

【参加者の皆様に準備いただく物品】

- ・ノートパソコンと電源アダプタ
- ・上記ノートパソコンで動作するVNCクライアント
- ・上にノートパソコンで動作するSSHターミナルクライアント（Windowsの方はTeratermセットを推奨）

【必要スキル等】

- ・LinuxサーバにSSHでログインしてコマンドが打てること
- ・自分のパソコンのhostsファイルを編集できること（管理者権限をもっていること）

※セミナーのみ参加の方は必要ありません。

Micro Hardening終了後、下記の講演(30分)を予定しています。

テーマ：「SecHack365における若手サイバーセキュリティ人材の取り組み紹介」

講師：国立研究開発法人情報通信研究機構サイバーセキュリティ研究所

ナショナルサイバートレーニングセンターサイバートレーニング研究室 主任研究員 横山 輝明 氏

(参考) 国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT)が取り組む「SecHad365」とは？

SecHack365とは、「SECURITY + HACKATHON 365 DAYS」を意味する名称で、25歳以下を対象に、他にはない365日の長期ハッカソンによるモノづくりの機会を提供することで、「セキュリティイノベーター」としてセキュリティの様々な課題にアイデアで切り込める人材の育成を目指しています。

参加者は（国研）情報通信研究機構をはじめ、大学や企業など様々な分野で活躍する研究開発・セキュリティのスペシャリストからなる専門家集団（トレーナー）の助言を得ながら、サイバーセキュリティの課題解決に資する実践的な研究・開発に取り組みます。

お申し込み方法

Practice Day

以下のフォームにて必要事項を記載しお申込みください。

<https://forms.office.com/r/u0fKhD6CNr>

必要事項はフォームに掲載しておりますので、手順に沿って記入願います。



Seminar Day

以下のフォームにて必要事項を記載しお申込みください。

<https://forms.gle/bzL4cbyEYPCeEwSv6>

必要事項はフォームに掲載しておりますので、手順に沿って記入願います。



募集について

- 定 員 Practice Day(Micro Hardening) 32名、Seminar Day(サイバーセキュリティセミナー)80名
- 参加費 無 料
- 申込締切 2025年2月21日(金)

※それぞれ定員に達し次第締切らせていただきます。

本イベントに関する問い合わせ

Practice Day : 国立研究開発法人情報通信研究機構 北陸StarBED技術センター 0761-51-8118
Seminar Day : 総務省北陸総合通信局情報通信部電気通信事業課 076-233-4420